

受講料  
無料

# ～確かな手ごたえと成果を導く動的な地域包括ケアへ～ 成功の好循環が生まれる政策形成の秘訣

いよいよ今年、地域包括ケアシステムの構築のターゲットイヤーである2025年を迎え、わがまちの地域包括ケアは果たしてうまくいっているのか、第10期介護保険事業計画策定に向けてこれまでの取り組みを評価される場面も多いかもしれません。一方で、市町村においては、前任からたくさんの事業を引き継ぎ、必死にこなしてきたが、今後も果たして続ける意味があるのだろうか、あるいは、関係者が思うように動いてくれず、うまくいっている手ごたえを感じられない等の悩みや迷いを抱えている担当者も少なくありません。本セミナーでは、本年度実施した「アジャイル型地域包括ケア政策共創プログラム（政策立案支援）」の実践報告を交えながら、なぜ参加自治体の担当者たちが、やりがいと確かな手ごたえを感じられるよう変化したのか、成功の好循環が生まれるアジャイル型地域包括ケアの秘訣をお伝えします。



日時

2025年2月10日(月) 13:30-17:00

会場

Zoomウェビナー  
(オンライン)

対象

地域包括ケア・地域共生の地域づくりに関わる市町村職員や地域関係者及び  
市町村の地域づくりを支援する都道府県・厚生局・大学・民間企業等

申込

事前登録制(参加無料)

※右記URL又はQRコードよりお申し込みください。※自治体のデバイスからのアクセスが難しい場合は、個人のスマートフォン等、他のデバイスからご登録ください。※後日配信希望の方も上記より事前登録をお願いします。

後日動画配信有 申込期日2月7日(金)

お申し込みはこちらから

[https://us02web.zoom.us/join/register/WN\\_IDOpOQsGQ9eeh4iVd\\_De2A](https://us02web.zoom.us/join/register/WN_IDOpOQsGQ9eeh4iVd_De2A)
実施  
主体

 **藤田医科大学**  
地域包括ケア人材教育支援センター



一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会  
**医療経済研究機構**  
Institute for Health Economics and Policy

※本プログラムは、厚生労働省老人保健健康増進等事業「地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた市町村の地域デザイン力を高める共創コミュニティによる支援に関する調査研究」の一環として実施しています。



13:30 - 13:35	主催者挨拶 厚生労働省挨拶	藤田医科大学 厚生労働省老健局
13:35 - 13:55	事業紹介・報告	プログラムメンター
13:55 - 15:35	プログラム参加市町村の成果報告・参加市町村インタビュー 参加市町村が、当初どんな問題意識で参加し、どのようにわがまちに必要な取り組みを見極めていったのか、課題検討過程や庁内外関係者とのチームビルディングの実際のプロセスをご紹介します。	参加自治体 プログラムメンター
15:45 - 16:55	総合討論 参加自治体の取組をガイドしてきた本プログラムメンターが、参加市町村の取り組みを引き合いに出しながら、アジャイル型地域包括ケアのエッセンスを全国の自治体に共有します。	モデレーター ニッセイ基礎研究所 三原 岳 パネラー プログラムメンター
16:55 - 17:00	閉会挨拶	藤田医科大学

プログラムメンター：

亀井 善太郎	PHP総研主席研究員 兼 立教大学院特任教授	岩名 礼介	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 主席研究員
三原 岳	ニッセイ基礎研究所 ヘルスケアリサーチセンター上席研究員	服部 真治	日本能率協会総合研究所 主幹研究員
高橋 拓朗	NTTデータ経営研究所 地域未来デザインユニットシニアマネージャー	松本 小牧	豊明市 市民生活部共生社会課 課長
都築 晃	藤田医科大学 講師・地域包括ケア中核センター	池田 寛	藤田医科大学 地域包括ケア中核センター

令和6年度アジャイル型地域包括ケア政策共創プログラム 実施概要

「アジャイル型地域包括ケア政策共創プログラム」とは、政策立案に経験豊富なメンターが、参加自治体に約半年間コーチング役として寄り添い、共に事業の目的の問い直し、達成に向けた道筋を立て、実践と振り返りを重ねながら取組を進めていく「集合型のコンサルティングプログラム」です。プログラム終了後も、関係者が現状とゴールを皆で振り返り、試行錯誤できる自律的な組織へと変革させるところまで狙っていることが特徴的です。

2024年度  
参加自治体

青森県平内町、福島県須賀川市、福島県喜多方市、新潟県阿賀野市  
新潟県田上町、長野県箕輪町、愛知県東海市、島根県安来市  
島根県邑南町、広島県福山市

検討テーマ

社会的孤立者への見守り、リエイブルメント（自立支援・総合事業）  
社会参加、就労的支援（一般介護予防）、安心して住み続けられるための支援のあり方（Aging in Place）、互助による生活支援、重層の支援（多機関協働）

参加者の声①

青森県平内町  
福祉介護課  
須藤 昌毅（指導監）



自分自身を含めて、チームメンバーが良い変化を起こしていることに気づいた

チームで話をしていると、初めのこととは違い、出来ないことにこだわらず、出来ることから始めようという考えに変化してきているのが、回を重ねるごとにわかり、本プログラムに参加して本当に良かったと感じています。

参加者の声②

島根県邑南町  
医療福祉政策課  
土崎しのぶ（保健師）



ロジックモデルという設計図を、みんなで共有し、得意分野を活かして進んでいきたい

これまで行政は失敗をしてはいけないという脅迫概念がありましたが、できなかったことや小さな失敗を受け止めて、次はこうしたらうまく行くんじゃないかな・・・と次の打ち手を考える、柔軟な考え方が大切であると思えるようになりました。

参加  
特典

本プログラムメンターによる  
個別無料相談にご参加いただけます

新年度 2025年4月～7月頃 実施予定

自治体の政策立案支援のプロが、皆様の自治体の取組に直接アドバイスいたします。詳細は決まり次第本セミナー参加者のメールアドレスにご案内いたします。

